

県内経済の基調判断

2024年7月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年5月	6月	7月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年7~9月	10~12月	2024年1~3月
企業の景況感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77BI

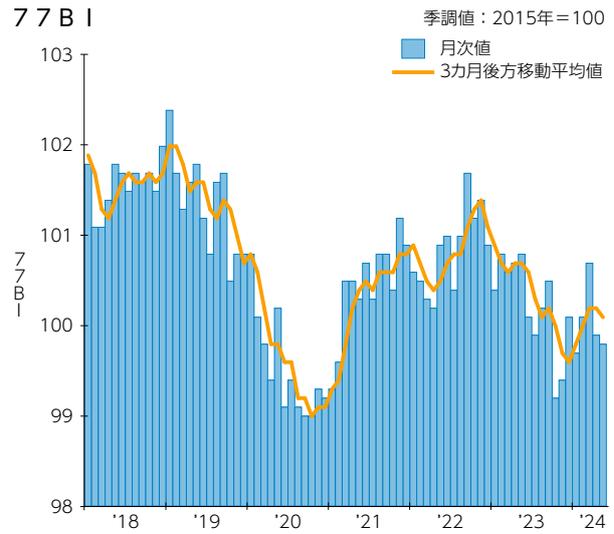
77BI(暫定値)は、持ち直しの動きが鈍化している。

5月の77BI(暫定値)は、前月比0.1ポイント低下の99.8となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積は前月比上昇したが、宮城県消費動向指数、有効求人倍率は前月比低下した。また、4月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.1ポイント低下の100.1となった。

77BI



出典：当社作成(以下も同じ)

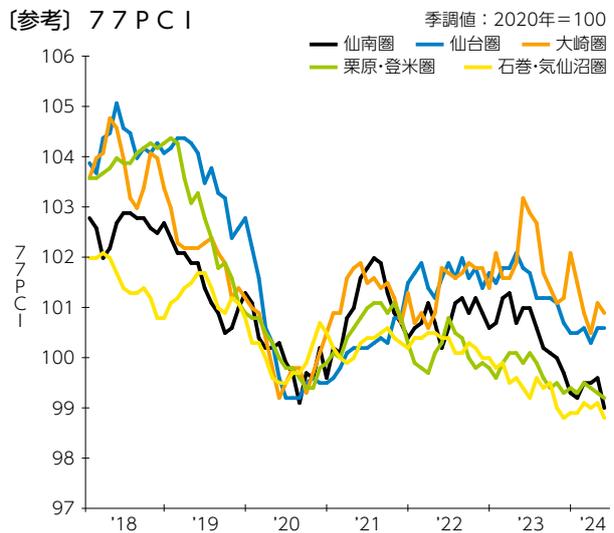
77BI (季節調整値、2015年=100)

	2024年3月	4月	5月
BI値	100.7	99.9	99.8
鉱工業生産指数	101.5	105.6	105.6
宮城県消費動向指数	106.5	99.4	97.1
建築物着工床面積	147.0	68.9	128.9
有効求人倍率	99.5	95.8	92.8

[参考] 77PCI (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年3月	4月	5月
仙南圏	0.1	0.05	▲ 0.6
仙台圏	▲ 0.3	0.4	▲ 0.1
大崎圏	▲ 0.4	0.6	▲ 0.1
栗原・登米圏	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
石巻・気仙沼圏	▲ 0.1	0.1	▲ 0.3

[参考] 77PCI



出典：当社作成(以下も同じ)

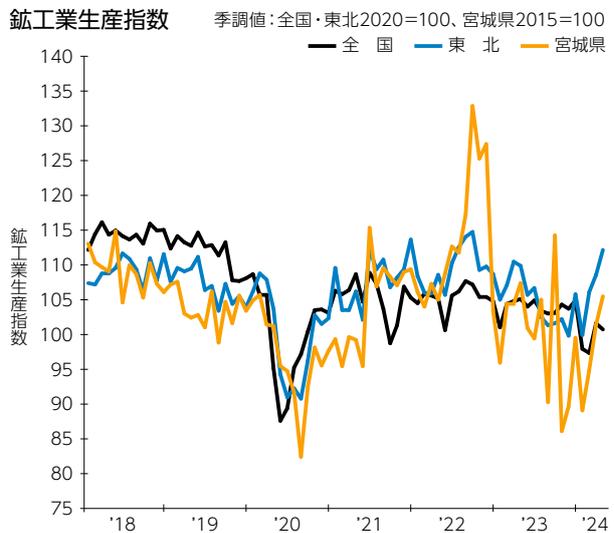
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

4月の鉱工業生産指数は、前月比4.0%上昇の105.6となった。業種別にみると、輸送機械工業が前月比プラスとなったことなどから、3カ月連続して前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比0.2%の上昇となり、12カ月ぶりに前年を上回った。

鉱工業生産指数



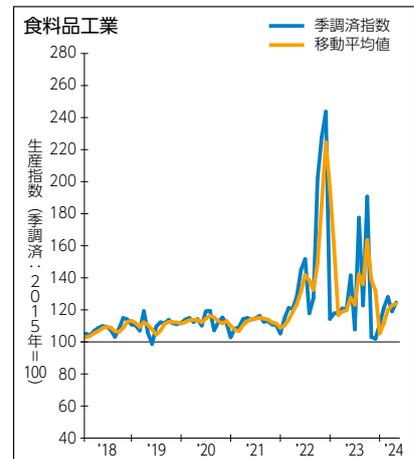
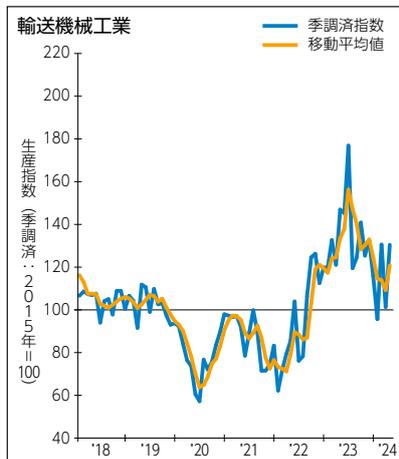
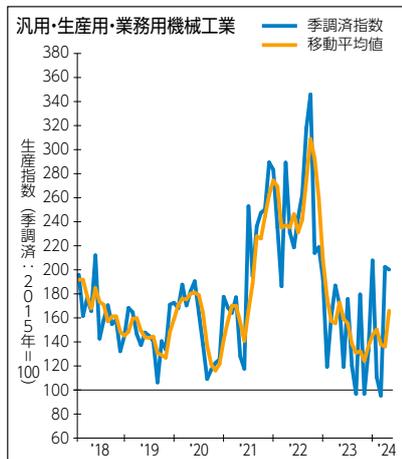
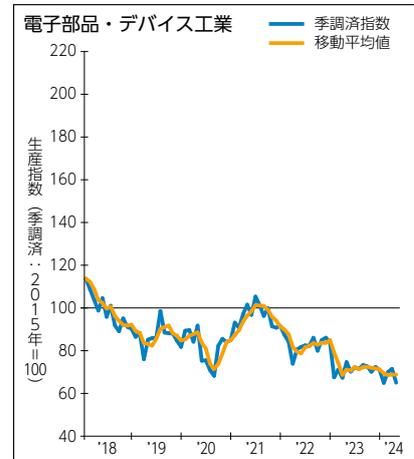
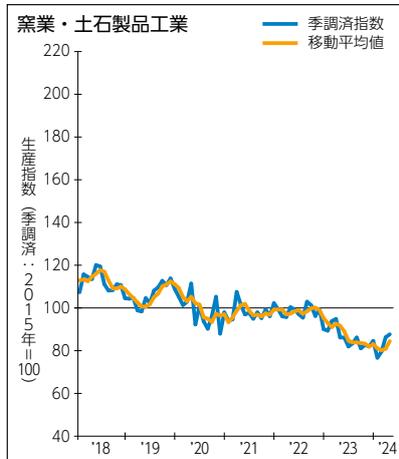
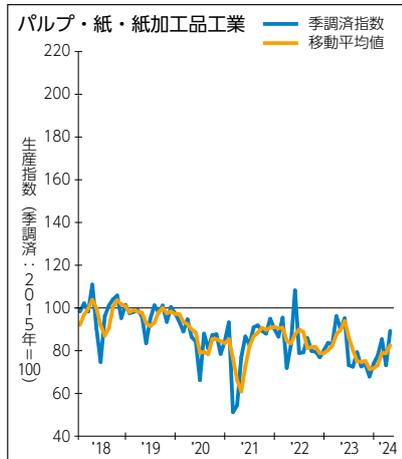
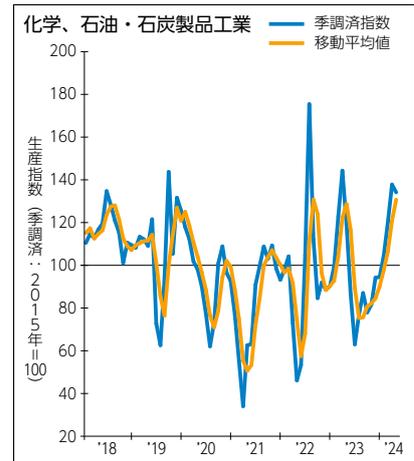
出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数 (宮城県2015年=100、東北・全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	94.9	101.5	105.6
(前年比)	▲ 6.1	▲ 6.4	0.2
東北	106.2	108.7	112.3
(前年比)	▲ 1.6	▲ 4.3	3.6
全国	97.4	101.7	100.8
(前年比)	▲ 3.9	▲ 6.2	▲ 1.8

主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2024年2月	3月	4月
化学、石油・石炭製品工業	120.3	137.9	134.2
(前年比)	▲ 4.9	▲ 2.4	12.0
パルプ・紙・紙加工品工業	85.3	73.1	89.2
(前年比)	5.3	▲ 21.8	▲ 4.6
窯業・土石製品工業	79.5	86.2	87.6
(前年比)	▲ 13.9	▲ 13.1	2.3
電子部品・デバイス工業	69.9	71.4	64.9
(前年比)	2.0	1.0	▲ 7.7
汎用・生産用・業務用機械工業	95.1	202.4	200.2
(前年比)	▲ 38.3	▲ 2.8	20.1
輸送機械工業	130.6	101.3	130.5
(前年比)	▲ 2.8	▲ 19.6	▲ 5.6
食料品工業	128.0	119.0	124.6
(前年比)	8.2	▲ 1.5	0.7



建設動向

公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

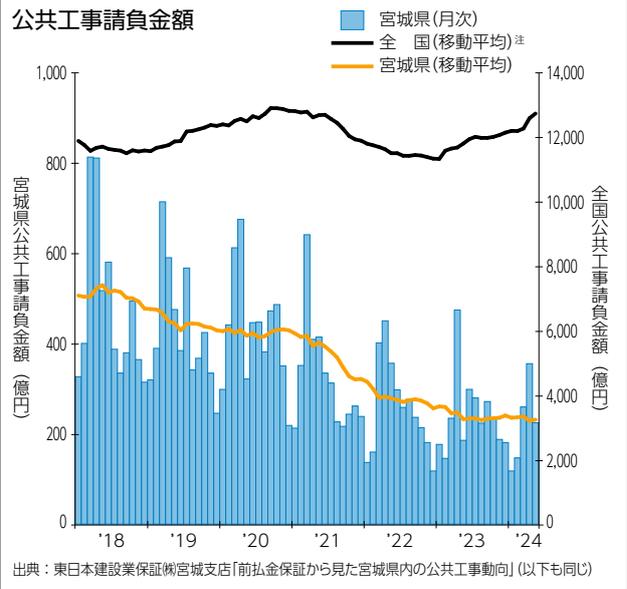
公共工事

5月の公共工事請負金額は、前年同月比21.0%増の225億円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国の機関では、同33.2%減の31億円と前年を下回った。

一方、地方の機関は、県が同27.7%減の47億円、市町村等は同97.6%増の147億円となり、全体で同39.3%増の194億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年5月の請負金額（156億円）と比べた水準は44.5%増となっている。

公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	10.6	▲ 25.0	21.0
国の機関	21.7	▲ 71.4	▲ 33.2
県	2.0倍	0.1	▲ 27.7
市町村等	▲ 28.2	▲ 25.0	97.6
全国	6.2	18.8	12.3

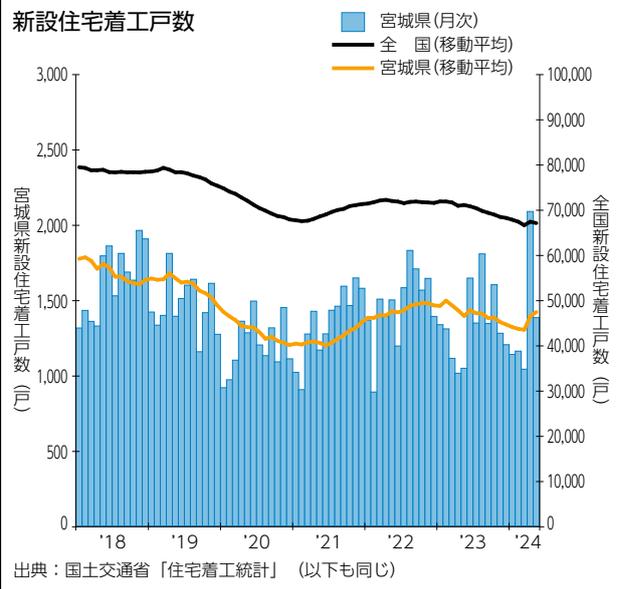
住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比32.1%増の1,386戸(全国5.3%減、65,882戸)となり、前月に引続き前年を上回っている。

利用関係別にみると、持家が同5.6%減(270戸)と前年を下回ったが、貸家が同58.2%増(845戸)、分譲が同17.9%増(270戸)と前年を上回った。

また、震災前の2010年5月の着工戸数(990戸)と比べた水準は40.0%増となっている。

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	▲ 6.5	2.1倍	32.1
持家	▲ 4.9	17.9	▲ 5.6
貸家	30.0	23.7	58.2
分譲	▲ 50.5	5.0倍	17.9
全国	▲ 12.8	13.9	▲ 5.3

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

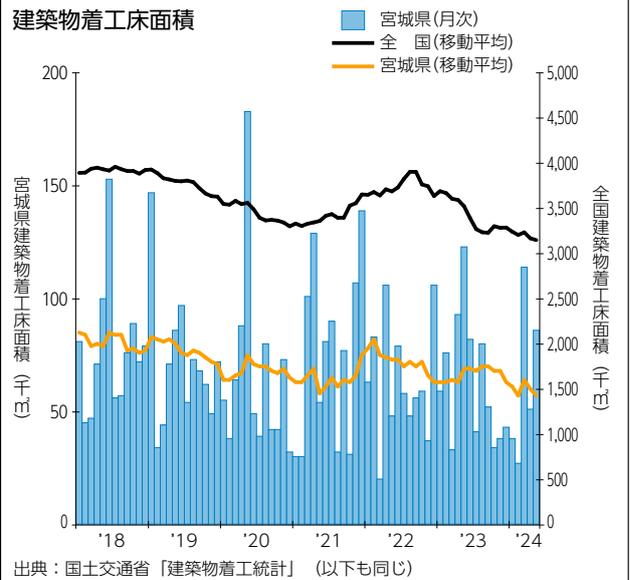
	2024年3月	4月	5月
市部	▲ 9.6	2.1倍	33.7
うち仙台市	1.0	2.4倍	65.0
うち仙台市以外	▲ 29.1	54.6	▲ 17.5
郡部	15.7	46.7	21.4

建築物着工

5月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比30.1%減の86千㎡、工事費予定額は同0.7%減の184億円となり、床面積、工事費予定額とも前月に引続き前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、工場（1千㎡：前年同月比89.8%減）などが前年を下回った。

建築物着工床面積



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	3.5倍	▲ 44.9	▲ 30.1
事務所	▲ 42.3	▲ 58.8	2.2倍
店舗	▲ 55.6	▲ 30.6	7.5倍
工場	▲ 70.1	23.7	▲ 89.8
倉庫	10.7倍	▲ 22.4	▲ 51.6
その他	5.5倍	▲ 83.6	19.5
全国	13.5	▲ 18.2	▲ 8.5

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	3.2倍	▲ 33.8	▲ 0.7
事務所	▲ 45.4	▲ 60.0	53.7
店舗	▲ 61.3	▲ 38.8	7.1倍
工場	▲ 52.9	25.2	▲ 90.8
倉庫	18.9倍	▲ 15.4	▲ 35.0
その他	4.7倍	▲ 75.2	59.4
全国	55.9	24.2	▲ 1.6

消費動向

宮城県消費動向指数はこのところ弱含んでおり、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる動きとなっている。乗用車新車販売は強い下押しにより減少している。

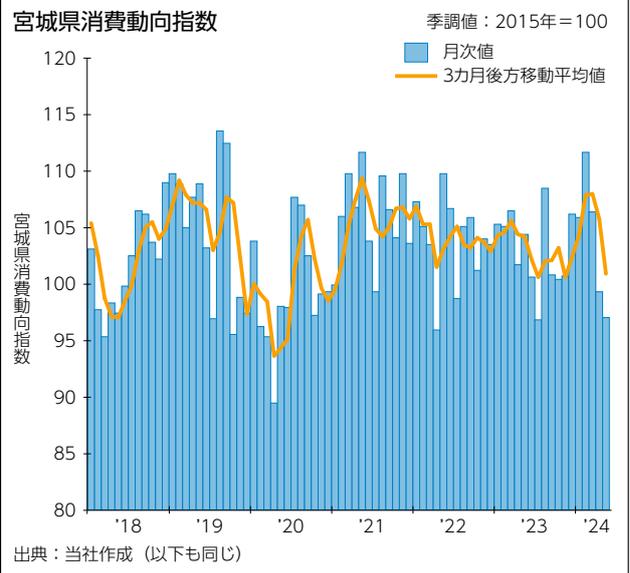
消費動向指数

5月の宮城県消費動向指数は、前月比2.3ポイント低下の97.1となり、3カ月連続して低下している。

消費費目別にみると、「家具・家事用品」「教養娯楽」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比4.9ポイント低下の101.0となった。

宮城県消費動向指数



出典：当社作成（以下も同じ）

宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

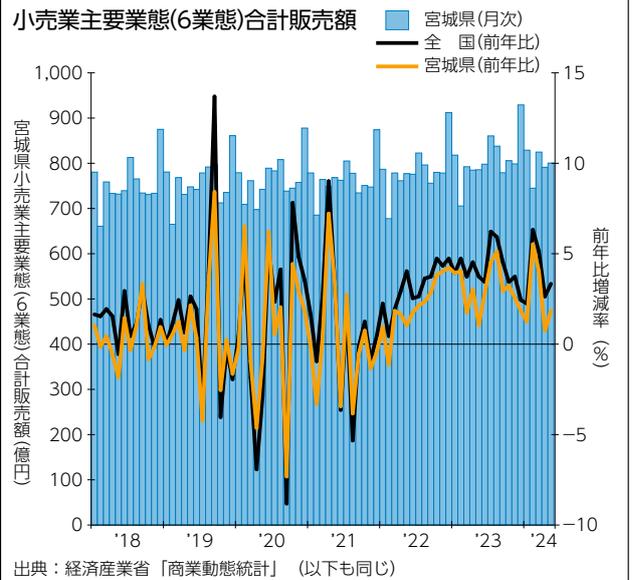
	2024年3月	4月	5月
消費動向指数	106.5	99.4	97.1
家賃指数	110.5	110.4	110.8
乗用車販売指数	65.1	78.8	79.5
コア消費支出指数	120.6	114.2	106.1

※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

5月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比1.9%増の804億円(全国3.4%増、4兆2,898億円)となり、27カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同0.6%増の332億円(全国4.4%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。コンビニエンスストアは同0.4%減の205億円(全国1.3%増)となり、3カ月連続して前年を下回っている。家電大型専門店は同7.5%増の53億円(全国0.6%増)となり、4カ月連続して前年を上回っている。ドラッグストアは同7.4%増の149億円(全国6.6%増)となり、38カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同0.4%減の65億円(全国1.1%増)となり、3カ月連続して前年を下回っている。



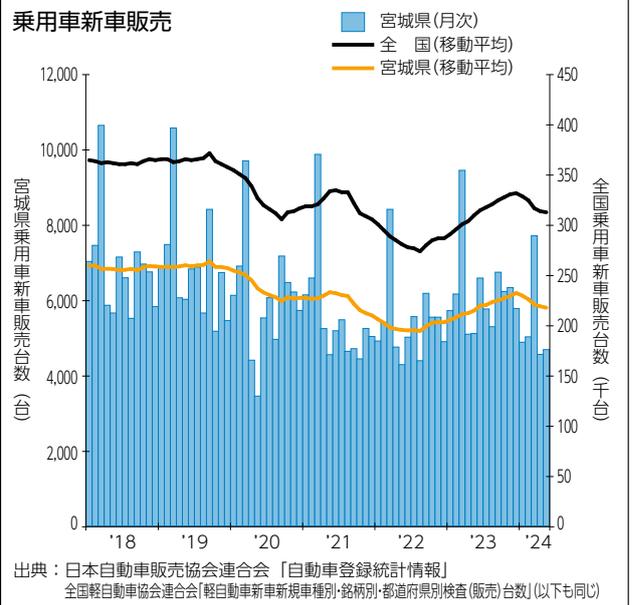
小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
6業態合計(宮城県)	4.1	0.8	1.9
百貨店・スーパー	4.7	▲ 1.1	0.6
コンビニエンスストア	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 0.4
家電大型専門店	12.4	6.0	7.5
ドラッグストア	9.6	7.7	7.4
ホームセンター	▲ 2.7	▲ 1.1	▲ 0.4
6業態合計(全国)	5.2	2.7	3.4

注) 全店ベース

乗用車新車販売

5月の乗用車新車販売台数は、前年同月比8.4%減(全国3.9%減)の4,693台となり、5カ月連続して前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同0.2%増(全国2.0%増)の2,078台となり、前月に引続き前年を上回っている。小型車は、同9.4%減(全国8.8%減)の1,148台となり、5カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同17.6%減(全国8.2%減)の1,467台となり、5カ月連続して前年を下回っている。

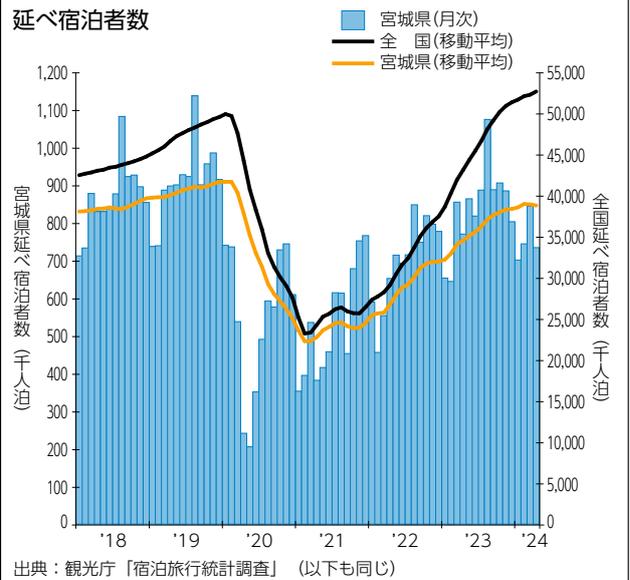


乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	▲ 18.4	▲ 10.5	▲ 8.4
普通車	▲ 6.1	9.8	0.2
小型車	▲ 34.3	▲ 23.8	▲ 9.4
軽乗用車	▲ 19.5	▲ 22.3	▲ 17.6
全国	▲ 19.6	▲ 10.7	▲ 3.9

観光動向

4月の延べ宿泊者数は、前年同月比4.6%減の736千人泊となり、前月に引続き前年を下回っている。
 居住地別にみると、県内宿泊客は同8.1%減の156千人泊と前月に引続き前年を下回っており、県外宿泊客は同13.0%減の463千人泊と前月に引続き前年を下回っている。
 また、外国人の延べ宿泊者数は、同32.7%増の72千人泊となり、21カ月連続して前年を上回っている。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

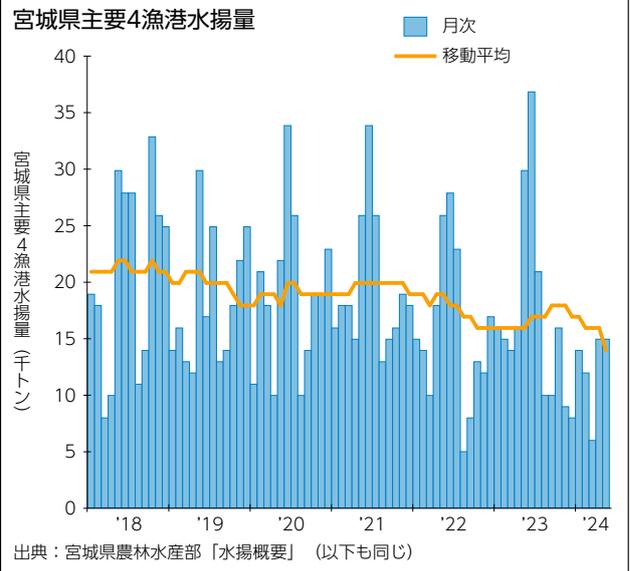
	2024年2月	3月	4月
宮城県	746	846	736
うち県内客	182	223	156
うち県外客	471	545	463
うち外国人	74	62	72
全国	47,848	55,110	51,896
うち外国人	11,517	12,982	14,502

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	15.4	▲ 1.3	▲ 4.6
うち県内客	2.7	▲ 1.2	▲ 8.1
うち県外客	8.2	▲ 4.6	▲ 13.0
うち外国人	3.1倍	2.8倍	32.7
全国	11.7	4.2	10.1
うち外国人	86.3	64.6	46.9

水産動向

5月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚は、数量が前年同月比50.7%減の15千トン、金額が同40.3%減の47億円となり、数量は7カ月連続して、金額は6カ月連続して前年を下回っている。
 魚種別にみると、数量はマイワシ、金額はビンチョウマグロなどが減少した。
 漁港別にみると、数量は塩釜が前年を上回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を下回った。金額は全ての漁港が前年を下回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
合計	▲ 56.9	▲ 4.0	▲ 50.7
塩釜	▲ 42.7	▲ 65.8	0.1
石巻	▲ 42.4	▲ 11.4	▲ 47.6
気仙沼	▲ 52.5	78.6	▲ 59.8
女川	▲ 83.3	15.3	▲ 56.9

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

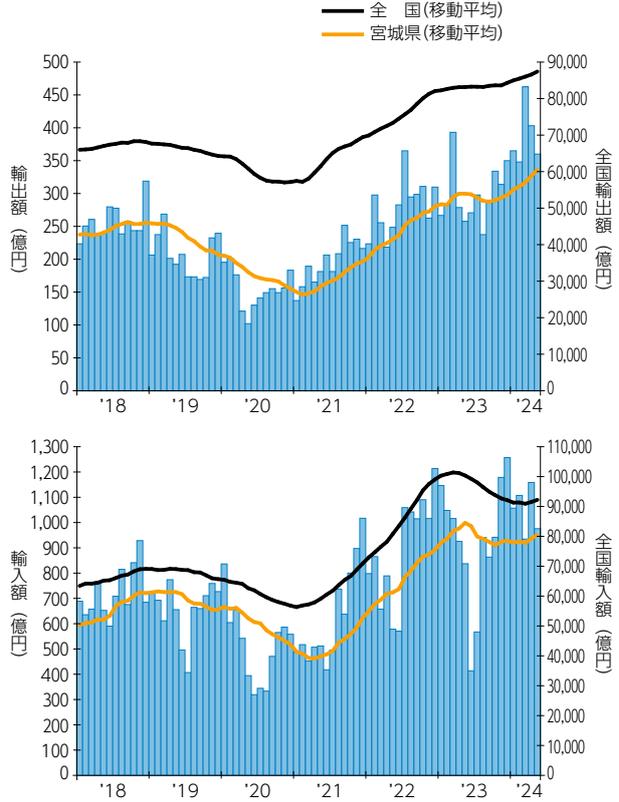
	2024年3月	4月	5月
合計	▲ 29.1	▲ 2.7	▲ 40.3
塩釜	▲ 39.8	▲ 39.6	▲ 16.6
石巻	▲ 19.8	13.0	▲ 32.3
気仙沼	▲ 13.0	69.4	▲ 65.8
女川	▲ 68.0	▲ 0.4	▲ 19.4

貿易動向

5月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比39.9%増の359億円、輸入が同16.5%増の973億円となった。

輸出は石油製品が増加したことなどから8カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから前月に引続き前年を上回っている。

宮城県内貿易動向



輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
宮城県	輸出	17.6	44.9	39.9
	輸入	▲ 8.0	25.1	16.5
全国	輸出	7.3	8.3	13.5
	輸入	▲ 5.1	8.3	9.5

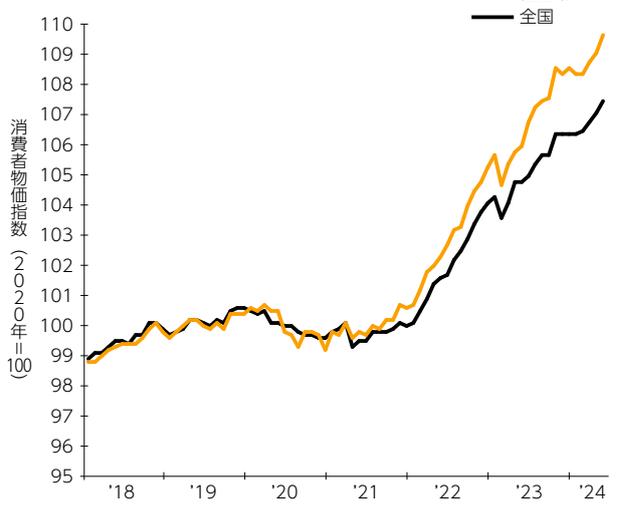
出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

物価動向

5月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.4%上昇の109.7となり35カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

仙台市消費者物価指数



注）生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
生鮮食品を除く食料		5.2	4.3	4.4
住居		1.5	1.4	0.1
光熱・水道	▲	0.6	0.4	8.1
家具・家事用品	▲	0.1	1.3	4.7
被服および履物		3.2	3.5	3.3
保健医療		2.4	1.6	1.2
交通・通信		3.7	4.2	3.3
教育		1.6	3.5	3.4
教養娯楽		8.2	7.0	5.6
諸雑費		1.4	1.6	1.7

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
仙台市		3.3	3.1	3.4
全国		2.6	2.2	2.5

雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

5月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数が増加したことなどから、前月比0.04ポイント低下の1.24倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

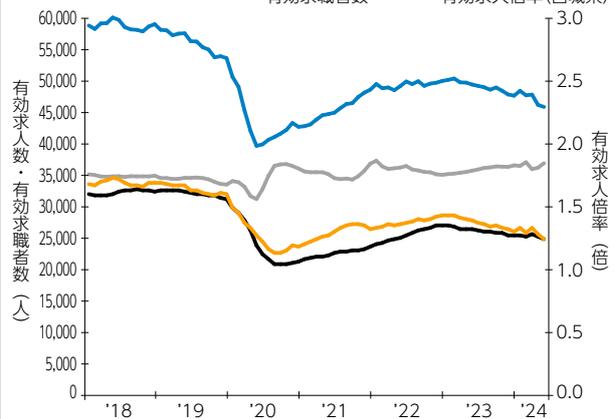
有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.31倍）、築館（1.23倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.57倍）、塩釜（0.63倍）などは1倍を下回っている。

有効求人倍率等 (倍、%)

	2024年3月	4月	5月
有効求人倍率(宮城県)	1.33	1.28	1.24
(全国)	1.28	1.26	1.24
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 4.1	▲ 6.0	▲ 7.7

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2024年3月	4月	5月
気仙沼	1.21	1.06	1.02
石巻	1.40	1.20	1.10
塩釜	0.73	0.66	0.63
仙台	1.55	1.38	1.31
大和	1.37	1.27	1.20
古川	1.07	0.96	0.90
築館	1.40	1.20	1.23
迫	0.88	0.78	0.74
大河原	0.69	0.59	0.57
白石	1.27	1.10	1.02

倒産動向

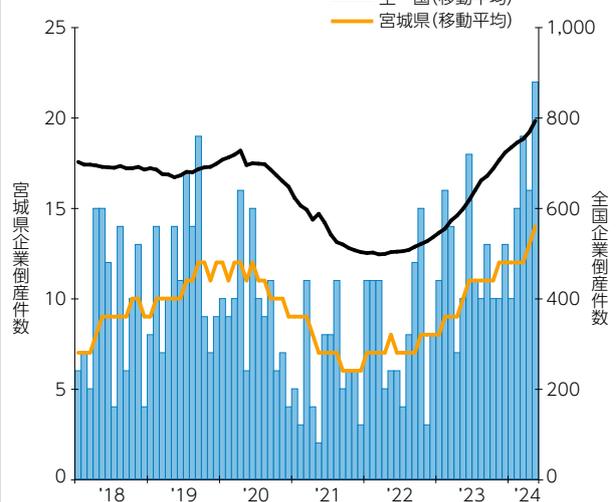
5月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比2.2倍の22件、負債額では同4.9倍の26億円となった。

倒産企業を業種別にみると、製造業が5件、建設業、サービス業他が各4件などとなっている。

主因別では、販売不振が15件、既往のシワ寄せが5件などとなっている。

地域別では、仙台市が9件、石巻市が3件などとなっている。

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」（以下も同じ）

企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

		2024年3月	4月	5月
宮城県	件数	19	16	22
	負債額	2,744	2,594	2,567
全国	件数	906	783	1,009
	負債額	142,252	113,423	136,769

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
宮城県	件数	35.7	2.3倍	2.2倍
	負債額	3.9	10.8倍	4.9倍
全国	件数	12.0	28.4	42.9
	負債額	▲ 3.5	▲ 44.4	▲ 50.9

人口動向

6月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比16,076人減の225万1,346人となり、38カ月連続して前年を下回っている。

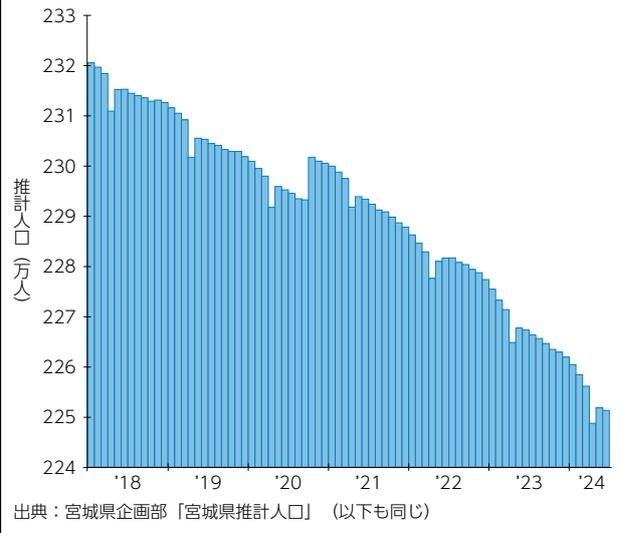
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,773人減、社会増減は697人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（257人増）、富谷市（133人増）の2市、減少したのは石巻市（2,201人減）、仙台市（1,816人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では9万5,507人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,668人増）、名取市（5,426人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万8,054人減）、気仙沼市（1万6,787人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



宮城県人口

(人)

	2024年4月	5月	6月
総人口	2,248,772	2,251,867	2,251,346
自然増減	▲ 1,740	▲ 1,430	▲ 1,259
社会増減	▲ 5,679	4,525	738

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月 ①	2023年6月 ②	2024年6月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月 ①	2023年6月 ②	2024年6月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
宮城県	2,346,853	2,267,422	2,251,346	▲ 16,076	▲ 95,507	村田町	11,939	10,161	9,982	▲ 179	▲ 1,957
仙台市	1,046,737	1,098,221	1,096,405	▲ 1,816	▲ 49,668	柴田町	39,243	37,501	37,223	▲ 278	▲ 2,020
石巻市	160,394	134,541	132,340	▲ 2,201	▲ 28,054	川崎町	9,919	7,964	7,775	▲ 189	▲ 2,144
塩釜市	56,221	50,799	50,517	▲ 282	▲ 5,704	丸森町	15,362	11,330	10,991	▲ 339	▲ 4,371
気仙沼市	73,154	57,691	56,367	▲ 1,324	▲ 16,787	亘理町	34,795	32,782	32,587	▲ 195	▲ 2,208
白石市	37,273	31,185	30,426	▲ 759	▲ 6,847	山元町	16,608	11,632	11,465	▲ 167	▲ 5,143
名取市	73,603	78,772	79,029	257	5,426	松島町	15,014	12,838	12,583	▲ 255	▲ 2,431
角田市	31,188	26,718	26,325	▲ 393	▲ 4,863	七ヶ浜町	20,353	17,464	17,360	▲ 104	▲ 2,993
多賀城市	62,990	63,060	62,590	▲ 470	▲ 400	利府町	34,279	35,006	34,960	▲ 46	681
岩沼市	44,160	43,605	43,450	▲ 155	▲ 710	大和町	25,366	28,484	28,409	▲ 75	3,043
登米市	83,691	72,491	71,014	▲ 1,477	▲ 12,677	大郷町	8,871	7,527	7,384	▲ 143	▲ 1,487
栗原市	74,474	61,049	59,666	▲ 1,383	▲ 14,808	大衡村	5,361	5,580	5,469	▲ 111	108
東松島市	42,840	38,102	37,620	▲ 482	▲ 5,220	色麻町	7,406	6,343	6,203	▲ 140	▲ 1,203
大崎市	134,950	123,336	121,654	▲ 1,682	▲ 13,296	加美町	25,421	20,886	20,451	▲ 435	▲ 4,970
富谷市	47,501	51,341	51,474	133	3,973	涌谷町	17,399	14,546	14,166	▲ 380	▲ 3,233
蔵王町	12,847	10,861	10,698	▲ 163	▲ 2,149	美里町	25,055	23,072	22,775	▲ 297	▲ 2,280
七ヶ宿町	1,664	1,173	1,163	▲ 10	▲ 501	女川町	9,932	6,113	6,027	▲ 86	▲ 3,905
大河原町	23,465	23,637	23,411	▲ 226	▲ 54	南三陸町	17,378	11,611	11,387	▲ 224	▲ 5,991

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数